

千曲川流域環境・水産研究センター（仮称）

趣旨 長野大学は水産研究・教育機構上田庁舎を活用し環境ツーリズム学部を中心に他大学・研究機関と連携し千曲川流域の環境・生態系を再生し水産資源および観光資源の復活と新たな資源の開発により流域のアクアイノベーションを創発する研究教育に本格的に乗り出したい

想定連携機関 大学（信州大学・近畿大学・東京海洋大学等）・水研機構・県水産試験場・漁協・企業（水産業・飼料・食品加工など）・観光業

事業計画

荒廃化しつつある千曲川を復活させるための環境・生態研究、我が国唯一といえる豊富な実河川水を利用した以下の水産研究を推進する

- ① アユ等の水産資源の再生：千曲川の水産資源再生への多角的な取り組みを実施
 - ▶ アユの種苗生産：アユ種苗生産コスト低減につながる技術開発（水産研究・教育機構）
 - ▶ 千曲川の生態系の再生：河川管理（アユ餌場再生等）、生態系（外来種対策等）
 - ▶ 遊漁振興による観光：観光ツーリズム学部、自治体との連携による新たな観光振興策の研究
- ② 新たな水産資源の開発
 - ▶ 施設を生かした先端研究機関との連携研究：チョウザメ養殖（近畿大学水産研究所）、ウナギ管理（水産庁事業）、ナマス、ドジョウ、フグなど
- ③ 施設を利用した研究開発
 - ▶ バイオロギング（魚類回遊追跡標識：水産庁事業）、水中ロボット（繊維学部ロボット学科）、釣り科学（繊維学部、企業）
- ④ 環境教育活動
 - ▶ 地域の児童生徒（小・中・高）への環境教育を強化：河川学習会、里地・里山の保全と活用を学ぶ学習会、釣り講習（信州大学）

千曲川流域環境・水産研究センター（仮称）

趣旨 長野大学は、上田庁舎を拠点として活用し、千曲川の自然・資源を再生・開発することで地域のアクアイノベーションを創発する研究教育に本格的に乗り出したい

センターの特徴 我が国で唯一といえる豊富な実河川水を利用可能。魚類の飼育・実験のための多様なインフラを有する貴重な研究施設

想定参加機関 大学（信大・近大・東京海洋大等）・水研機構・県水試・漁協・観光産業・企業

水産資源の再生

千曲川の水産資源再生への多角的な取組みを実施

- アユの種苗生産：アユ種苗生産コストの低減につながる技術開発課題の研究
- 千曲川の生態系の再生：河川管理（アユ餌場再生等）、生態系（外来種対策等）の研究
- 遊漁振興による観光：観光ツーリズム学部、自治体と連携した新たな観光振興策の研究

新たな水産資源の開発

施設を活かし、先端研究機関と連携
（候補テーマ）

チョウザメ養殖、ウナギ管理、ナマズ、ドジョウ

環境教育活動

地域の児童生徒（小中高校）への環境教育を強化
（小中高校・創造館・教育委員会、企業と連携）

- 河川学習会
- 里地里山の保全と活用を学ぶ学習会
- 釣り講習

施設を活かした研究開発

特徴ある施設を使って新たな研究活動の場を提供

- バイオロギング（魚類回遊追跡標識）
- 水中ロボット
- 釣の科学

